

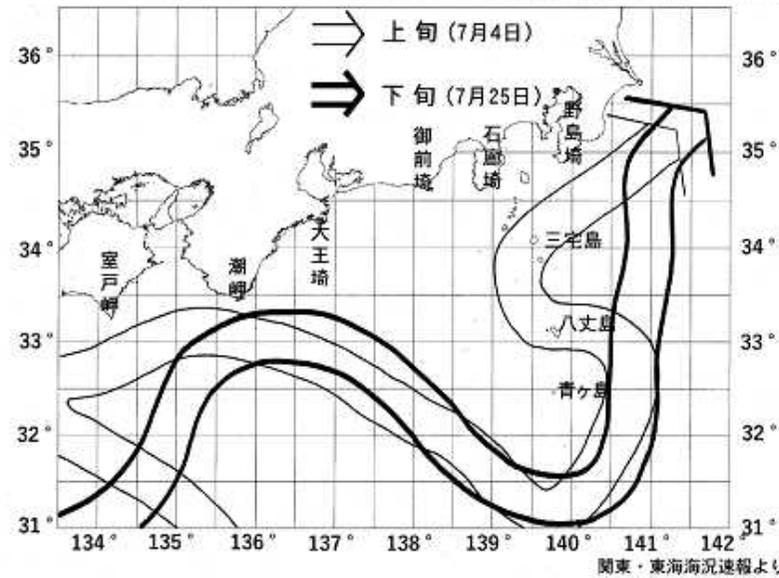
漁海況月報

令和7年7月1日

No. 7 ~7月31日

静岡県水産・海洋技術研究所
(電話 054-627-1815)

静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



7月定地水温の旬平均値(°C) (下段は平年値*からの偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	25.7	24.5	24.5	26.6	27.5	26.2
	3.7	3.5	3.7	4.0	4.2	3.4
中旬	25.6	25.3	25.4	27.0	26.8	26.6
	2.8	3.4	3.9	3.1	2.5	2.8
下旬	26.5	24.9	24.5	27.4	28.2	27.2
	2.4	1.8	1.6	2.6	3.0	2.2
月	26.0	24.9	24.8	27.0	27.5	26.7
	2.9	2.9	3.0	3.2	3.2	2.8

*平年値：過去30年(平成3年~令和2年)の平均値

【黒潮流路】

7月を通じてC型で、御前崎沖で大きく離岸した後、上旬はS字状に八丈島を通過して北上し、中旬~下旬は八丈島の東を北上する流路となった。

上旬は駿河湾沖で大きく離岸し、駿河湾沖31.5°N付近から石廊崎沖34.0°NまでS字状に青ヶ島の東から八丈島を通過して北上した後、三宅島を通過して北東に流去した。

中旬は石廊崎沖で大きく離岸し、野島崎沖32.0°N付近からS字状に34.5°N付近まで八丈島と三宅島の東を北上した後、北東に流去した。暖水波及が大王崎沖の黒潮屈曲部から熊野灘、遠州灘に向けて見られた。

下旬は野島崎沖で大きく離岸し、野島崎沖31.5°N付近から34.5°N付近まで八丈島と三宅島の東を北上した後、北東に流去した。暖水波及が大王崎沖の黒潮屈曲部から熊野灘、遠州灘、駿河湾に向けて見られた。

【沿岸域水温】

上旬、中旬は全ての地点で「極めて高め」であった。下旬は伊東、稲取、下田、焼津で「高め」、雲見、沼津で「極めて高め」であった。

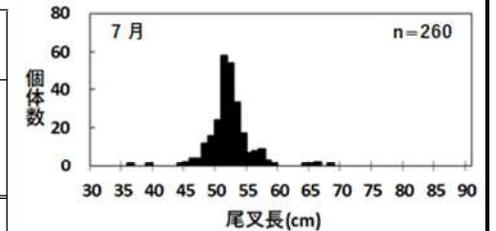
【竿釣カツオ】

7月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは47.0トンで前年同月(94.5トン)の50%であった。平均単価は576円/kgで前年同月(391円/kg)を上回った。

漁場は33°N、140°Eの八丈島周辺や銭洲、三宅などで、7月18日に御前崎港で実施した市場調査では、角の瀬において漁獲されたカツオの尾叉長組成は中(尾叉長52cm)が主体であった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
R7年7月上旬	21.7	11	2.0	482
中旬	17.7	11	1.6	615
下旬	7.6	11	0.7	751
R7年7月計	47.0	33	1.4	576
R6年7月計	94.5	46	2.1	391
R5年7月計	115.2	46	2.5	383



御前崎港で測定したカツオの尾叉長組成

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は315.6トンで、前年(168.4トン)の1.9倍、平年(282.2トン)の1.1倍であった。また、1か統当たりの水揚量は45.1トン(前年:24.1トン、平年:40.3トン)であった。水揚量の多い漁場は、古網漁場(83.9トン、ブリ、マイワシ、カタクチイワシ)、次いで伊豆山漁場(78.5トン、マイワシ、カタクチイワシ、マアジ)であった。

多獲された魚種の水揚量は次頁(表)のとおりで、さば類は84.7トン、前年比2.1倍、平年比77%であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは3.0トン、前年比4.1倍、平年比36%、ゴマサバは77.2トン、前年比2.0倍、平年比78%、さばっこ(小型当歳魚銘柄)は4.5トン、前年比18.2倍、

平年比77%であった。マイワシは79.2トン、前年比1.9倍、平年比2.1倍であった。マアジは33.6トン、前年比1.2倍、平年比1.1倍であり、このうち、じんだ(小型当歳魚銘柄)は0.8トン、前年比14%、平年比8%であった。ブリは29.6トン、前年比36.3倍、平年比1.8倍、銘柄わらさ主体であった。カタクチイワシは25.8トン、平年比1.1倍(前年は水揚げ無し)であった。その他の魚種については、マルソウダ(18.4トン、前年比6.2倍、平年比2.5倍)、ムロアジ(6.9トン、前年比21.3倍、平年比38.3倍)が昭和57年以降、最も水揚量が多かった。

多獲された魚種の主な漁場は、以下(表)のとおりで、各漁場の水揚量の割合は、さば類では北川漁場が37%(31.1トン)、谷津漁場が15%(12.6トン)、マイワシでは伊豆山漁場が47%(36.4トン)、古網漁場が30%(24.0トン)、マアジでは伊豆山漁場が34%(11.6トン)、古網漁場が19%(6.3トン)、赤沢漁場が18%(6.1トン)、ブリでは古網漁場が82%(24.1トン)、カタクチイワシでは古網漁場が53%(13.6トン)伊豆山漁場が47%(12.2トン)であった。

*平年：昭和57年～令和6年の平均値

多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
さば類	84.7	2.13	0.77	北川、谷津
マイワシ	79.2	1.85	2.11	伊豆山、古網
マアジ	33.6	1.15	1.09	伊豆山、古網、赤沢
ブリ	29.6	36.29	1.77	古網
カタクチイワシ	25.8	-	1.11	古網、伊豆山

[サバたもすくい・棒受網]

小川港所属の棒受網漁船は上中旬はたもすくい漁業主体、下旬は棒受網漁業主体で操業した。漁場は上中旬は利島に、下旬は三本、ひょうたん瀬、金洲に形成された。水揚量はゴマサバ41トン(前年同月比51%)であり、1隻当たりの水揚量はゴマサバ1.3トン(前年同月比48%)であった。マサバの水揚げはなかった。

平均単価は209円/kgで前月(188円/kg)を上回り、前年同月(211円/kg)並であった。

ゴマサバの体長組成は34cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		平均単価(円/kg)		漁場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R7年7月上旬	-	32	6	8	-	3.9	-	193	利島
中旬	-	1	1	1	-	1.2	-	361	利島
下旬	-	8	5	5	-	1.3	-	250	三本、ひょうたん瀬、金洲
R7年7月計	-	41	12	14	-	2.7	-	209	利島、三本、ひょうたん瀬、金洲
R6年7月計	-	80	9	16	-	5.0	-	211	利島
R5年7月計	-	10	5	5	-	2.0	-	175	利島、ひょうたん瀬、御前崎沖

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため、月計と一致しないことがある。

[シラス船曳網]

県内7港における1日1か統当たりの水揚量は、遠州灘(新居、舞阪、福田、御前崎)が266kg、駿河湾(吉田、用宗、由比)が202kgであった。平均水揚量は238kgで前年同月(142kg)の1.7倍、平年同月(過去5か年平均:231kg)の1.0倍であった。また、総水揚量は396トンで前年同月(197トン)の2.0倍、平年同月(416トン)の95%で前年同月を上回り、平年並であった。平均単価は1,547円/kgで前年同月(1,451円/kg)の1.1倍、平年同月(1,216円/kg)の1.3倍で、前年並であり、平年同月を上回った。
*平年：過去5か年(令和2年～令和6年)の平均値

7港のシラス水揚量

漁港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)	
遠州灘	新居	34.4	11	127	271	1,410
	舞阪	127.9	11	429	298	1,501
	福田	71.9	11	265	271	1,450
	御前崎	14.3	13	113	126	1,547
駿河湾	吉田	45.1	13	319	141	1,799
	用宗	79.2	15	270	293	1,654
	由比	22.8	8	138	165	1,433
R7年7月計	395.6	82	1,661	238	1,547	
R6年7月計	197.3	69	1,386	142	1,451	
R5年7月計	302.1	85	1,664	182	1,762	

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

[まき網(いわし類)]

マイワシの水揚量は、沼津港では40.6トン(前年同月比8.2倍、平年同月比89%)、伊東港では44トン(前年同月比72.4%、平年同月比3.6倍)、小川港、静浦港では水揚げがなかった。カタクチイワシは沼津港、小川港、静浦港、伊東港では水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは79トン、カタクチイワシは26トンであった。
*平年：過去5か年(令和2年～令和6年)の平均値

[調査船駿河丸の動向]

7月は出航はなかった。

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

トップページ…………… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

海洋情報のページ…………… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/O1ocean/>

右のQRコードから、人工衛星による観測情報、県内沿岸水温情報、関東・東海海況速報等を見ることができます。

